

2013
4

目次
CONTENTS

2	平成25年度市長施政方針	20	那珂市内放射線量の測定状況
8	平成25年度那珂市予算	22	まちの話題
12	議会 第1回定例会	24	Information
15	茨城県市長会自治功労者表彰 那珂市内観光地めぐり	26	市立図書館だより ほか
16	平成25年度那珂市まちづくり 出前講座をご利用ください	28	さわやかさん ほか
19	こども発達相談センター「すまいる」 ほか		



たくさんの成長を見つめてきた学び舎にさようなら (菅谷西幼稚園卒園式)

平成25年度 市長施政方針

3月4日から、平成25年第1回那珂市議会定例会が開催され、海野市長が平成25年度の施政方針を表明しました。以下、施政方針の内容(予算の概要については別掲)についてお知らせします。

平成25年度那珂市一般会計をはじめ、各特別会計および水道事業会計の当初予算のご審議をお願いするに当たり、市政運営の基本方針と新年度における主要な施策の概要を申し上げ、議員各位をはじめ市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、私が平成23年2月に市長に就任してから3年目に入り、任期の折り返し点を過ぎました。那珂市のかじ取りを託されて以来、私が提唱しております「一人ひとりが輝くまち」、「未来に夢がもてるまち」の実現を目指し、皆様のご理解とご協力をいただきながら各種事業を全力で取り組んでまいりました。

現在、我が国では、加速する少子高齢化や地球温暖化による環境破壊、原子力発電所の事故後のエネルギー問題など、私たちを取り巻く社会環境は厳しいものが予想されます。また、長引くデフレ不況、東日本大震災や欧州政府債務危機の影響など、経済環境は、本市の地域経済の足取りをも重くしてきたところでもあります。昨年は衆議院解散による総選挙があり、民主党から自民党へと政権が交代し、時代の大きな転換期を迎えております。安倍新政権による積極的な経済政策により、安定的な政局運営が行われますことを心から願うものであります。



市においては、新たなまちづくりの指針となる第一次那珂市総合計画の後期基本計画が平成25年度に元年を迎えます。前期基本計画における取り組みの成果や東日本大震災の経験を踏まえたうえで、「協働のまちづくり」を根底に置き、後期基本計画のまちづくりの目標を「市民とともに創る豊かな生活文化都市」に定め、今後5年間のまちづくり指針として位置づけました。那珂市の未来を力強く、着実に築き上げていくためにも、これまでの歩みを止めることなく、総合計画によるまちづくりを着実に進めるとともに、行政改革大綱や財政健全化プランによる行財政改革に取り組んでまいります。また、今後のまちづくりを進めるうえで、何よりも強固な財政基盤の確立が重要であります。そのためにも、優良企業の誘致による雇用と税収の確保、地域経済の活性化に向け、積極的に取り組んでまいり所存であります。

私と職員が一丸となり、迅速に課題解決に取り組み、より高品質の行政サービスを市民の皆様にご提供する

ことが、私に与えられた使命であると考えております。私は、市民の皆様への負託に応えるためにも、愛されるふるさと那珂市を創るべく、いかなる困難な課題にも挑戦してまいり所存であります。

以上、市政運営の基本的な考え方について申し上げます。

次に、平成25年度当初予算の概要について申し上げます。

平成25年度の那珂市予算は、歳入では、収入の根幹となる市税の増額、また財源対策の地方債および普通建設事業に係る地方債の増に伴い市債の増額が見込まれる一方で、国の地方財政対策により普通地方交付税の減額が見込まれることから、財政調整基金等からの繰入金を増額し、歳出では、扶助費や繰出金の増加に加え、高水準で推移する公債費など、将来的にも厳しい財政状況が見込まれる中、歳入に見合った歳出の原則に立ちつつも、社会基盤の整備や震災からの復興に向け必要となる事業を中心に、財源の重点的かつ効率的な配分に努めた予算編成を行

いました。

その結果、一般会計については前年度比8・1%増の183億7000万円、特別会計については、国民健康保険特別会計（事業勘定）が前年度比7・5%増の55億7700万円、下水道事業特別会計は前年度比18・1%増の24億8400万円、公園墓地事業特別会計が前年度比18・2%増の1300万円、農業集落排水整備事業特別会計が前年度比17・0%増の9億4100万円、介護保険特別会計（保険事業勘定）が前年度比10・7%増の41億2000万円、上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計が前年度比16・4%減の1億6300万円、後期高齢者医療特別会計が前年度比4・0%増の4億7100万円、那珂地方公平委員会特別会計が平成24年度に廃止となり皆減となりました。

水道事業会計につきましては、収益的収入が前年度比0・1%増の11億1786万4千円、収益的支出が前年度比0・8%減の10億9817万7千円、資本的収入が前年度比11・3%増の9112万7千円、資本的支出が前年度比31%増の5億8052万6千円となりました。

次に、重点的に取り組む主要施策の概要につきまして、第1次那珂市総合計画に掲げる施策体系に沿って申し上げます。

1 市民との協働のまちづくり

協働のまちづくりの推進につきましては、協働体制の確立に向け、引き続き地区まちづくり委員会、自治会および市民活動団体の活動を支援するとともに、市民一人ひとりがまちづくりの主体であることを認識し、進んでまちづくりに参加できるように学習機会の提供や啓発を行ってまいります。

広報事業につきましては、市民の皆様親しまれる広報紙を目指し、今後も市の話題や情報等を読みやすく分かりやすい紙面づくりに努めてまいります。また、最新の行政情報を市のホームページに掲載するとともに、ソーシャルネットワークワーキングサービス（SNS）などの新たな媒体を活用するなど、便利でわかりやすい情報の提供にも努めてまいります。

広聴事業につきましては、市民相談室の窓口をはじめ、市民ボックスや市民からの提案メールなどにより、広く意見聴取の充実を図るとともに、引き続きパブリックコメントを実施してまいります。また、市民との対話や意見交換を行うため、平成23年度から始めました「市長と話そうふれあい座談会」を継続して実施し、市民ニーズに対応した市政運営に努めてまいります。

男女共同参画推進事業につきましては、那珂市男女共同参画プラン後期実施計画に基づき、様々な取り組みを総合的かつ計画的に推進してまいります。

2 安全で快適な住みよいまちづくり

防災につきましては、非常時において迅速かつ統制された活動が行えるよう那珂市地域防災計画の見直しにあわせた行動マニュアルを作成し、災害に強いまちづくりを推進してまいります。また、防災井戸および防災資機材の整備を進めるとともに、食糧や飲料水など非常用食糧の備蓄を進めてまいります。自主防災組織の設立についても引き続き推進するとともに、総合防災訓練を実施するなど、防災意識の高揚と災害時における市民の安全確保に努めてまいります。



◆各地区に防災倉庫を設置しています

原子力の安全対策につきましては、那珂市地域防災計画原子力災害対策編を見直し、防災対策を進めるとともに、市民に対して適切な情報提供を行ってまいります。また、東海第二原子力発電所の再稼働問題につきましましては、国、県および近隣市町村の動向を注視しながら、議会および市民の意を尊重し判断をしてまいります。

木造住宅耐震化促進事業につきましては、那珂市耐震改修促進計画に基づき、旧耐震基準で建築された住宅（昭和56年5月31日以前着工の木造住宅）に対して、補強設計および耐震改修工事に要する費用の補助を行い耐震化の促進を図ってまいります。

消防行政につきましては、消防・救急体制の充実強化に向け、西消防署の整備を進めてまいります。また、一般家庭の住宅用火災警報器の設置を推進するとともに、防火対象物および危険物施設の出火危険の排除、ならびに被害軽減のための査察・指導による防火安全指導の徹底や防火管理者の育成指導を行うことにより、各事業所の防火防災意識の啓発や消防用設備の維持管理等に努めてまいります。

救急業務につきましては、市民等に対し応急手当の普及啓発に努め、救命率の向上を図ってまいります。

消防団につきましては、消防ポンプ自動車1台、ポンプ積載車1台を更新整備し、地域防災力を強化してまいります。また、消防団員の安全対策を図るとともに、消防団との強固な連携体制を構築してまいります。



◆消防ポンプ自動車、ポンプ積載車を更新整備しました

市民の安全・安心対策につきましては、防犯パトロール隊（自警団）が未設置の地区への設立を引き続き促進してまいります。また、「犯罪のない安全・安心のまちづくり」への取り組みとして、警察や防犯協会などと連携した防犯パトロールの充実を図り、地域と一体となった防犯活動を進めてまいります。

消費者行政につきましては、安心した生活が送れるよう積極的な啓発を行うとともに、相談機能の充実を図ってまいります。また、出前講座の開催により、消費者被害の未然防止を引き続き図ってまいります。

交通安全対策につきましては、警察等関係機関との協力により「交通事故防止運動」を展開し、高齢者の死亡事故や自転車乗車中の事故等の防止に努めてまいります。また、飲酒運転や夜間の交通事故防止などの広報啓発活動を実施し、交通マナーの向上を図るとともに、高齢者や児童・生徒を重点に交通安全教育を実施してまいります。

環境行政につきましては、安全で安心して生活できる環境の確保に向け、現在策定を進めている「第2次那珂市環境基本計画」に基づき、温室効果ガスの削減のため引き続き省エネルギーの推進と、再生可能エネルギーの普及啓発に努めてまいります。また、各地区まちづくり委員会等の協力を得て、ごみの減量化と資源化、不法投棄の監視強化に努めてまいります。さらに、緑化の推進について啓発に努めるとともに、市民や事業者等と協働して自然環境を適切に保全してまいります。

市道整備につきましては、生活道路としての利便性の向上と安全な交通環境の確保を図るため、緊急性と必要性を考慮しながら地域の要望を総合的に勘案し、道路の新設や改良、維持補修を重点的に実施し、舗装率の向上に努めてまいります。また、東日本大震災により被害を受けた土木施設につきましては、まだ一部の未復旧部が残っております。

で、これらにつきましても早急に整備してまいります。

排水路整備事業につきましては、両宮排水路の未整備区間菅谷飯田線下流部および市街化区域内の上宿大木内線上流部区間を整備実施し、大雨等による冠水被害を防止するため早期完成を目指し推進してまいります。

都市計画道路菅谷・市毛線（第3期、延長11400m）および上宿・大木内線（延長14400m）につきましては、引き続き計画的に整備を進めてまいります。

公共交通の推進につきましては、日常生活の移動手段に不便をきたしている地域住民の交通手段を確保するため、県や事業者等と連携を図り、水郡線および路線バスの利便性向上に向けた施策を推進してまいります。また、那珂市地域公共交通連携計画に基づき、利便性の高い新たな地域交通として、自宅や指定場所から目的地まで乗り合いにより送迎を行うデマンド交通の導入に向けた実証運行を行ってまいります。これまで運行してきた「ひまわりバス」につきましては、デマンド交通の導入により地区コースは廃止しますが、市内循環コース3コースを2コースに統合して運行を継続することにより、より市民の身近な足として利用できるよう、更なる充実を図ってまいります。



◆デマンド交通の実証運行を開始しました

地籍調査事業につきましては、下江戸（Ⅲ）地区および北酒出（Ⅰ）地区の成果の閲覧と認証の作業を行うとともに、下江戸（Ⅳ）地区0・91平方キロメートルおよび北酒出（Ⅱ）地区0・68平方キロメートルの長狭物・一筆地の調査を実施してまいります。

菅谷地区まちづくり事業につきましては社会資本整備総合交付金を活用し、平成24年度から道路の整備を実施しており、下菅谷地区まちづくり事業につきましても同様に都市再生整備計画を変更し、第1期分として平成25年度から都市計画道路下菅谷停車場線や街区道路等の整備を進めてまいります。

上菅谷駅前地区土地区画整理事業につきましては、上菅谷駅舎改修工事を実施し、事業完成に向けて整備を進めてまいります。なお、事業推進にあたっては国の経済対策による大型補正を活用し、積極的に事業促進を図ってまいります。

上水道事業につきましては、安全かつ安定した水の供給を図るため、既存施設の適正な維持管理に努めてまいります。また、下水道の復旧整備に伴う配水管移設工事を行うとともに、配水管の整備および老朽管更新を引き続き実施してまいります。

さらに、木崎浄水場更新事業用地につきまして、埋蔵文化財の発掘調査を行うてまいります。

公共下水道事業につきましては、下菅谷地区、寄居地区、額田地区、後台地区および門部地区の污水管布設工事を行います。第1次整備優先地区のⅡ期地区の事業認可を取得し、引き続き快適で衛生的な生活環境の整備に努めてまいります。

農業集落排水整備事業につきましては、鴻巣地区Ⅰ期区域が供用を開始しましたので、鴻巣地区Ⅱ期区域においても、早期の農村環境の改善を図るため管路布設工事を進めてまいります。また、酒出地区につきましては、事業採択に向け準備を進めてまいります。

合併処理浄化槽の設置につきましては、公共下水道事業および農業集

落排水整備事業の認可区域以外の区域において、引き続き補助を行うてまいります。

3 健やかで生きがいをもつて暮らせるまちづくり

地域福祉につきましては、那珂市地域福祉計画に基づき、市社会福祉協議会や民生委員・児童委員など関係機関との連携により、ひとり暮らし・要援護者の見守り体制の強化を図り、互いに助け支え合う地域社会の構築を目指してまいります。

生活保護につきましては、生活保護制度に基づく保護費の適正化を進めるとともに、受給者が自立するための就労支援等に努めてまいります。

高齢者福祉につきましては、那珂市高齢者保健福祉計画に基づき、高齢者の自立支援と尊厳の保持を基本に、高齢者が可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、市内3圏域にある地域包括支援センターや市社会福祉協議会等の関係機関と緊密に連携を図り、介護予防事業の効果的な実施や地域包括ケアの推進、介護保険事業の円滑な運営など高齢者の保健・福祉・介護施策について、総合的かつ計画的に取り組んでまいります。

障がい者福祉につきましては、那

珂市障がい者プランに基づき、障がい者が地域において暮らしやすいまちを目指すとともに、支援を必要とするかたに対し、適切な障がい福祉サービスの提供に努めてまいります。

妊婦健診につきましては、引き続き健康な子どもを安心して出産できる支援体制の強化を図ってまいります。また、不妊治療を受けているかたの経済的負担を軽減するために、引き続き県補助金に上乗せして助成してまいります。

母子保健につきましては、関係機関との連携により、乳幼児期における相談・検診事業の充実を努めてまいります。

子育て支援につきましては、那珂市次世代育成支援対策行動計画に基づき、保育所および学童保育所の整備を進め、子育てと就労の両立を支援してまいります。また、家庭児童相談室では、引き続き児童虐待や母子家庭の自立等に関する相談の充実を図ってまいります。在宅の乳幼児に対する子育て支援のため、子育て支援センター「つぼみ」の機能を充実させるとともに、ファミリーサポートセンターの利用や地域との交流等、地域で子育てを支援する環境づくりを推進してまいります。また、総合保健福祉センターひだまり内に「こども発達相談センター」を開設し、発達の遅れやその疑いのあ

る子どもに、早期かつ適切な療育指導ができるようにするとともに、保護者の不安を解消するため情報提供および相談業務を行うてまいります。

成人保健につきましては、生活習慣病の予防を促すために、引き続き特定健康診査および特定保健指導の受診率向上に努めるとともに、未受診者対策を重点に実施してまいります。

予防接種事業につきましては、予防接種法に基づき定期接種の勧奨を行い、疾病の蔓延防止に努めてまいります。また、任意接種のおたふくかぜや水ぼうそうなどの予防ワクチンや小児インフルエンザワクチン、高齢者の肺炎球菌ワクチン等について、引き続き接種費用の助成をしてまいります。



4 豊かな心と文化を育む 教育のまちづくり

学校教育につきましては、個性と創造性を育む学校教育の充実を図ることを目標に、児童・生徒の基礎的・基本的な知識と技能の修得に努めるとともに、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の育成を図ってまいります。そのため、引き続き小・中学校へT・T非常勤講師やALT、障害児学習指導員等を配置するとともに、市独自で中学校2・3年生の35人学級を実施し、きめ細かな指導をより充実させてまいります。また、教職員を対象とした教科・領域研修や特別支援教育研修、生徒指導研修等を実施し、教員の意識改革および指導力の向上に努めてまいります。さらに、指導室を中心としたじめ・体罰への適切な対応と学校生活への悩みを持つ児童・生徒、更に保護者、教員への教育相談機能を充実させるために、教育支援センターにおいて相談窓口を開設し、心の教室相談員やスクールカウンセラー等による指導・支援を行ってまいります。また、児童・生徒のより良い教育環境を充実させるための小・中学校の適正規模化については、那珂市小中学校適正規模化基本計画に基づき、推進学区の地域の皆様と協議を進めており、早期の実現に努めてまいります。また、さらなる教育効

果の向上を目指して、小・中一貫教育の導入を検討してまいります。

幼児教育につきましては、那珂市幼稚園教育振興計画に基づき、特別支援教育の充実や預かり保育、就園奨励費等の支援を継続し、幼稚園教育の充実に努めてまいります。

学校施設につきましては、安全・安心で快適な教育環境づくりを推進するとともに、地域住民の災害時の緊急避難場所としても活用される屋内運動場や校舎の耐震補強・大規模改修工事を進めてまいります。

中央公民館につきましては、市民の意向を反映した講座の充実や自主事業の積極的な展開など、多様化する市民ニーズに対応するとともに、各地区まちづくり委員会との連携を深め、地域における生涯学習活動を推進してまいります。

市立図書館につきましては、生涯学習の身近な拠点として、多くの市民が読書を生活の一部として取り入れ、文化的で生きがいのある暮らしができるよう読書環境の充実に努めてまいります。また、学校との連携を図り、子どもたちの読書活動を支援してまいります。

スポーツ推進につきましては、那珂市スポーツ振興基本計画に基づき、生涯にわたるスポーツの推進・振興を図るとともに、市民による自主的な総合型地域スポーツクラブ「ひまわりスポーツクラブ」を支援し

てまいります。また、総合公園を活用して、水泳教室をはじめとする各種スポーツ教室の充実を図り、市民の健康の維持・増進に努めてまいります。

青少年健全育成につきましては、家庭教育力の向上に努めるとともに、家庭・学校・地域の連携をより一層深め、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進してまいります。また、ふるさと教室における体験事業の充実により、小学生のふるさとを愛する心と社会性の涵養を図ってまいります。

歴史遺産・伝統文化につきましては、歴史民俗資料館を拠点として季節展、企画展および市史編さん事業の充実に努めてまいります。また、市民と行政の協働による額田城跡の保存管理をはじめ諸歴史遺産の保存活動を進めてまいります。

国際交流につきましては、市国際交流協会と連携し、異なる文化や生活習慣を互いに理解しあえる多文化共生の実現に努めるとともに、国際親善姉妹都市であるアメリカ合衆国オークリッジ市との交流を通じ、国際的感覚を持ち、グローバル社会に対応できる人材を育成してまいります。

市民交流事業につきましては、秋田県横手市との交流を通じて、異なった風土や文化、生活習慣等に触れ、市民および市民団体の友好関係

が継続・発展できるよう交流活動を支援してまいります。

5 活力があり賑わいのある まちづくり

農業農村整備事業につきましては、県営事業を有ヶ池地区、芳野地区および南酒出地区で引き続き実施してまいります。また、県単かんがい排水事業により施設の更新を進めるとともに、大規模化農業のための再整備事業の推進に取り組んでまいります。

農業振興につきましては、米の生産調整や農業従事者の高齢化、担い手不足など、生産から消費に至る環境が大きく変化しており、収益の上がる農業の実現および農村活性化のために、関係機関や農業生産者、地域住民の参画のもと元気ナカむらづくり事業に新たに取り組む、生活田园都市の形成を目指します。農業経営の改善を図るため、営農指導者による営農相談や営農指導を行い、新たな作物の導入およびほしいもの普及促進を図るとともに、認定農業者等の担い手の育成と中小農家に対する支援を実施してまいります。また、農産物直売所のPRや農産物の産品化に取り組んでまいります。さらに、新規就農者などを対象とした講座をJAひたちなかや県等の関係機関と連携して開催してまいります。

遊休農地の対策につきましては、耕作放棄地再生利用事業や農地利用集積事業等を活用し、農業委員会など関係機関と協力して耕作放棄地の解消に向け取り組んでまいります。

商工業の振興につきましては、那珂市商業振興計画に基づき、地域事業者の活性化に向けた取り組みを推進していくとともに、自治・振興金融制度による事業資金の融資支援および雇用対策として就職活動の支援を行ってまいります。また、現在行っている商工業現況調査の結果を踏まえ、新たな振興計画を策定してまいります。

企業誘致につきましては、固定資産税の優遇や緑地面積率の緩和の措置を行うとともに、県や関係機関との連携により情報収集に努めながら、積極的な誘致活動に取り組み、雇用と税収の確保を図ってまいります。

観光振興につきましては、那珂市観光振興計画に基づき、市の歴史や文化、自然、人などの観光資源を生かしながら、観光や商業、農業等の地域産業と連携する仕組みを創ることにより、地域経済の活性化を図ってまいります。また、市観光協会と連携し、市の魅力や情報を積極的に発信することにより、市のイメージアップに努めてまいります。

6 行財政運営の効率化による自立したまちづくり

行財政改革につきましては、第2次那珂市行政改革大綱および那珂市財政健全化プランに基づき、引き続き計画的かつ積極的に取り組んでまいります。また、平成24年度から取り入れました事業仕分けにつきましては、市民参加による行財政改革を進めるうえから、引き続き実施してまいります。



◆平成24年度那珂市事業仕分け

職員研修につきましては、那珂市人材育成基本方針に基づき、引き続きそれぞれの役職階層において求められる知識や能力を養うとともに、政策形成能力や行政経営能力、危機管理能力等、専門的な能力の開発などを行い、職員一人ひとりの意識改革と資質の向上に努めてまいります。

人事評価制度につきましては、管理職を対象とした試行を2年間実施してまいりましたが、今後はこれを一般職に拡大するため、本年度については一般職の研修を実施し、更なる制度の浸透・拡充に向け検討を進めてまいります。

職員数につきましては、今後の定年退職者の大幅な増加を勘案しながら、各年齢層の偏りが生じないよう配慮しつつ新規採用者の計画的採用を進めるとともに、適正規模の定員管理を行ってまいります。

市税等の納付につきましては、平成24年度からコンビニ収納を導入したところであり、引き続き納税機会の拡充による市民サービスと収納率の向上を図ってまいります。

窓口業務の日曜開庁につきましては、市民生活の利便性の確保、市民顧客主義の観点に基づき平成23年9月から実施してまいりました。市民にも徐々に浸透してきておりますので、今後も更なる利便性の向上に向け検討・改善を加えつつ継続してまいります。

事務権限の移譲につきましては、今後も国や県からの一層の権限移譲が進められることが予想されますので、こうした流れに対応するため組織体制の柔軟な見直しを行い、地域主権の趣旨を踏まえて、主体的なまちづくりを推進してまいります。

以上、平成25年度の市政運営に当たっての基本的な考え方と主要施策の概要について申し上げますが、前段に申し上げましたとおり、平成25年度は「第一次那珂市総合計画」後期基本計画のスタートの年であり、今後のまちづくりを進めるうえで、重要な年であります。

地方自治体を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にありますが、那珂市の発展を更に確実なものにし、輝ける未来を創造するため、総合計画の各種事業や目標を確実に実現し、市民の皆様が真の豊かさを実感していただけるよう、全力を挙げて取り組んでまいります。

ここに、議員各位をはじめ市民の皆様の一層のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。施政方針といたします。

平成25年3月4日

那珂市長 海野 徹

平成25年度 那珂市予算

問 い
合 わ せ

財政課財政グループ

☎298-1111 (内線522)

【表1】平成25年度会計別予算額

(単位：千円)

会計名	25年度 予算額(A)	24年度 予算額(B)	増減率 (A)/(B)
一般会計	18,370,000	17,000,000	8.1%
特別会計	13,769,000	12,478,450	10.3%
国民健康保険(事業勘定)	5,577,000	5,189,000	7.5%
下水道事業	2,484,000	2,104,000	18.1%
公園墓地事業	13,000	11,000	18.2%
農業集落排水整備事業	941,000	804,000	17.0%
介護保険(保険事業勘定)	4,120,000	3,722,000	10.7%
上菅谷駅前地区土地区画整理事業	163,000	195,000	△16.4%
後期高齢者医療	471,000	453,000	4.0%
那珂地方公平委員会	0	450	皆減
合 計	32,139,000	29,478,450	9.0%

平成25年度的那珂市予算は、歳入では国の地方財政対策により地方交付税については増額、収入の根幹となる市税についても税制改正等により増収、また財源対策や普通建設事業債に係る地方債については前年度同水準の額が見込まれます。

歳出では高水準で推移する扶助費や公債費等により依然として厳しい状況が続く中、歳入に見合った歳出の原則に立ちつつも、社会基盤の整備や震災からの復興に向け必要となる事業を中心に、財源の重点的かつ効率的な配分に努めた予算編成を行いました。

その結果、一般会計については前年度比8.1%増の183億7,000万円、特別会計については前年度比10.3%増の137億6,900万円となりました。

一般会計

歳入

一般会計の歳入のうち最も大きな割合を占める市税は、年少扶養控除の廃止による個人市民税の増や税制改正に伴うたばこ税の増により増収が見込まれることから、前年度に比べ4.6%の増収、地方交付税についても国の地方財政計画を考慮するとともに、災害復旧事業に係る対象経費を震災復興特別交付税相当分として上乗し、前年度に比べ5.9%の増額を見込みました。

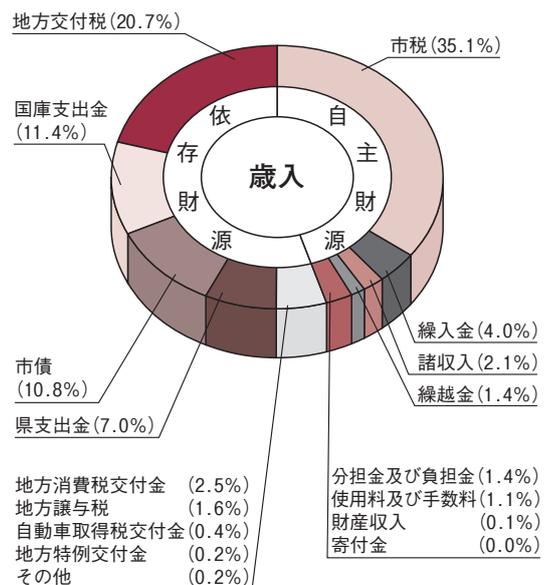
これらの結果、市が自らの手で確保できる自主財源は83億541万9千円で、歳入全体に占める割合は45.2%となりました。これに対し、国や県から決められた額を交付されたり、割り当てられたりする依存財源は100億6,458万1千円で、歳入全体の54.8%となりました。

【表2】平成25年度一般会計歳入予算

(単位：千円)

区分	25年度 予算額(A)	構成比	24年度 予算額(B)	増減率 (A)/(B)
自主財源	8,305,419	45.2%	7,864,235	5.6%
市税	6,445,054	35.1%	6,164,186	4.6%
分担金及び負担金	267,625	1.4%	267,082	0.2%
使用料及び手数料	196,896	1.1%	203,098	△3.1%
財産収入	11,192	0.1%	11,348	△1.4%
寄付金	4	0.0%	3	33.3%
繰入金	748,484	4.0%	584,621	28.0%
繰越金	250,000	1.4%	250,000	0.0%
諸収入	386,164	2.1%	383,897	0.6%
依存財源	10,064,581	54.8%	9,135,765	10.2%
地方譲与税	290,500	1.6%	292,000	△0.5%
地方消費税交付金	453,000	2.5%	452,861	0.0%
自動車取得税交付金	68,000	0.4%	62,000	9.7%
地方特例交付金	29,000	0.2%	28,800	0.7%
地方交付税	3,822,834	20.7%	3,610,000	5.9%
国庫支出金	2,097,215	11.4%	1,806,177	16.1%
県支出金	1,291,543	7.0%	1,090,578	18.4%
市債	1,976,091	10.8%	1,753,979	12.7%
その他 ※	36,398	0.2%	39,370	△7.5%
合 計	18,370,000	100.0%	17,000,000	8.1%

【図1】



※ 利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、交通安全対策特別交付金

市税 64億4,505万4千円 (4.6%増)

市の歳入の根幹をなすもので、市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税があります。

市税は昨年度まで減少が続いていましたが、平成25年度は増収となる見込みです。市民税は年少扶養控除の廃止等に伴う個人所得割の増収が見込まれることから前年度比6.6%増の27億5,811万4千円、市たばこ税は税制改正により都道府県たばこ税の一部が市町村たばこ税に移譲となることを考慮し、前年度比23.1%増の4億1,611万円等を見込みました。

地方交付税 38億2,283万4千円 (5.9%増)

国税のうち所得税、法人税、酒税、消費税およびたばこ税のそれぞれ一定割合を財源とし、地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行することができるよう、一定の基準により国から地方公共団体に交付されるもので、普通交付税、特別交付税(震災復興特別交付税を含む)があります。

普通交付税は地方財政計画の増減率等を考慮して、前年度に比べ0.9%減の33億8,000万円、特別交付税は過去の収入実績等を考慮して、前年度同額の2億円を見込みました。また震災復興特別交付税は、東日本大震災からの復旧・復興事業の地方負担分について、通常の特別交付税とは別枠で交付されるもので、一般会計および特別会計で計上した災害復旧事業費から算出し2億4,283万4千円を見込みました。

国庫支出金 20億9,721万5千円 (16.1%増)

国と地方公共団体の経費区分に基づき、国から地方公共団体に交付されるもので、負担金、委託金、特定の施設の奨励または財政援助のための補助金等があります。

民生費国庫負担金では、障害者福祉サービス給付事業負担金に3億9,875万円、児童手当関係負担金6億2,364万円、生活保護費負担金3億4,744万2千円、民生費国庫補助金では、地域生活支援事業補助金に2,204万円、衛生費国庫補助金では、合併処理浄化槽設置整備事業補助金1,381万3千円、土木費国庫補助金では、狭あい道路や街路等を整備するため社会資本整備総合交付金に3億3,882万円等を見込みました。

繰入金 7億4,848万4千円 (28.0%増)

一般会計、特別会計および基金の間で相互に資金運用をすることがあり、その資金を繰入金といいます。

財源不足を補うための繰入金は、財政調整基金から2億5,000万円、減債基金から2億5,000万円、公共施設整備基金から5,500万円、学校施設整備基金から6,915万6千円、震災復興まちづくり基金から1億776万8千円を見込みました。他会計からの繰入金は、公園墓地事業特別会計から570万円等を見込みました。

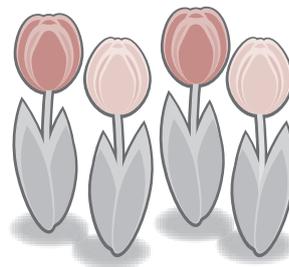
市債 19億7,609万1千円 (12.7%増)

耐用年数が長期にわたる公共施設の建設事業を実施する際の財源等として、その年度の収入のほかに国や民間の金融機関から資金を借り入れるもので、市の借金にあたります。

後年度の元利償還金の7割が普通交付税で措置される合併特例債を中心に、災害援護資金貸付金債に1,050万円、農業生産基盤整備事業債1,940万円、市道整備事業債に8,850千円、両宮排水路整備事業債に2億3,160万円、まちづくり交付金事業債に3億6,290万円、下菅谷地区まちづくり幹線道路整備事業債に3,050万円、菅谷市毛線街路整備事業債に2,700万円、上宿大木内線街路整備事業債に1,710万円、菅谷西小学校校舎耐震補強事業債に9,560万円を見込みました。

また、地方交付税の財源不足を補う臨時財政対策債(赤字地方債)は、国の地方財政計画等を考慮し10億9,299万1千円を見込みました。

(表2、図1参照)



特別会計

特別会計は特定の事業を行う場合、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計から分離して別に収支経理を行う会計です。

前年度と比べ増加率が大きな会計としては、公園墓地事業特別会計が、福ヶ平霊園・瓜連富士霊園の管理および運営に要する経費の増額を見込んで前年度比18.2%増の1,300万円、下水道事業特別会計については下菅谷地区、寄居地区、額田地区、後台地区、門部地区の整備や下水道の維持管理および流域下水道事業の建設負担金等に要する経費、災害復旧費等の増額を見込んで、前年度比18.1%増の24億8,400万円となりました。(表1参照)

水道事業会計

市の水道事業は、民間企業と同様に企業会計が導入されており、独立採算で運営しています。

本年度は、主な建設改良事業として配水施設工事費2億8,206万5千円を予定しており、配水管布設、老朽管更新、消火栓設置等を行います。更に木崎浄水場更新事業用地の埋蔵文化財発掘調査を行うとともに、施設の維持管理を強化して安定給水に努めます。(表3参照)

【表3】平成25年度水道事業会計予算額 (単位:千円)

区分		25年度予算額 (A)	24年度予算額 (B)	増減率 (A)/(B)
収益的収支	収入	1,117,864	1,116,315	0.1%
	支出	1,098,177	1,107,371	△0.8%
資本的収支	収入	91,127	81,846	11.3%
	支出	580,526	443,079	31.0%

歳出

一般会計の歳出のうち扶助費については、権限移譲により新たに開始する未熟児養育医療給付事業に加え、障害者福祉サービス給付事業や生活保護扶助費および民間保育所児童入所事業などの増により、前年度に比べ8.8%増額、普通建設事業費についても、菅谷西小学校校舎耐震補強事業や介護基盤緊急整備等特別対策事業の皆増に加え、両宮排水路整備事業などの増により前年度に比べ54.7%の増額を見込んでいます。

これらの結果、法令等によりその支出が義務づけられている義務的経費は、前年度から1.8%増加し、歳出全体に占める割合は50.9%となりました。これに対し、道路や学校の建設等社会資本の整備に要する経費である投資的経費は、前年度から58.8%増加し、歳出全体に占める割合は11.0%となりました。

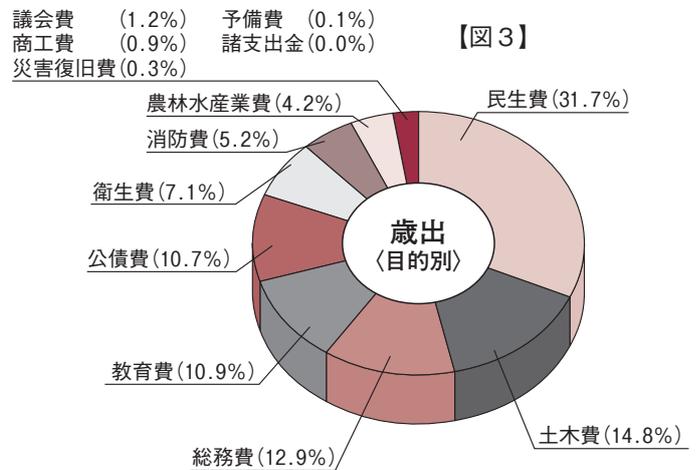
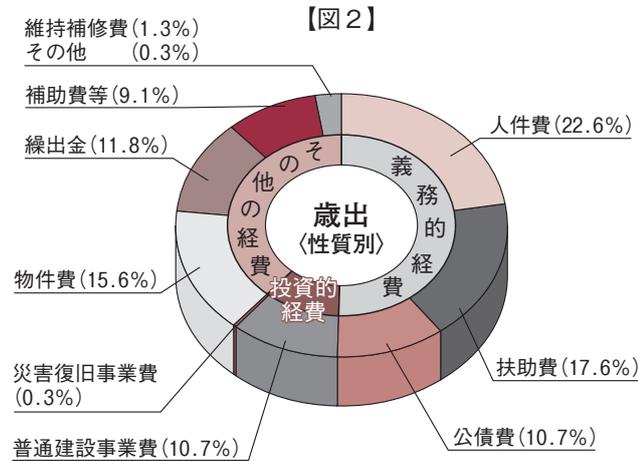
【表4】平成25年度一般会計歳出予算(性質別) (単位:千円)

区分	25年度 予算額(A)	構成比	24年度 予算額(B)	増減率 (A)/(B)
義務的経費	9,351,365	50.9%	9,187,064	1.8%
人件費	4,146,102	22.6%	4,178,030	△0.8%
扶助費	3,239,782	17.6%	2,977,214	8.8%
公債費	1,965,481	10.7%	2,031,820	△3.3%
投資的経費	2,024,705	11.0%	1,274,727	58.8%
普通建設事業費	1,972,135	10.7%	1,274,409	54.7%
補助事業費	1,010,167	5.5%	433,307	133.1%
単独事業費	961,968	5.2%	841,102	14.4%
災害復旧事業費	52,570	0.3%	318	16,431.4%
その他の経費	6,993,930	38.1%	6,538,209	7.0%
物件費	2,867,618	15.6%	2,748,516	4.3%
維持補修費	237,478	1.3%	228,265	4.0%
補助費等	1,671,418	9.1%	1,619,706	3.2%
繰出金	2,160,585	11.8%	1,888,401	14.4%
その他 ※	56,831	0.3%	53,321	6.6%
合計	18,370,000	100.0%	17,000,000	8.1%

【表5】平成25年度一般会計歳出予算(目的別)(単位:千円)

区分	25年度 予算額(A)	構成比	24年度 予算額(B)	増減率 (A)/(B)
議会費	216,334	1.2%	233,270	△7.3%
総務費	2,368,908	12.9%	2,270,305	4.3%
民生費	5,828,879	31.7%	5,361,501	8.7%
衛生費	1,310,473	7.1%	1,204,138	8.8%
農林水産業費	763,675	4.2%	649,611	17.6%
商工費	161,883	0.9%	181,870	△11.0%
土木費	2,720,814	14.8%	2,286,163	19.0%
消防費	949,550	5.2%	951,926	△0.2%
教育費	2,011,427	10.9%	1,809,072	11.2%
災害復旧費	52,570	0.3%	318	16,431.4%
公債費	1,965,482	10.7%	2,031,821	△3.3%
諸支出金	5	0.0%	5	0.0%
予備費	20,000	0.1%	20,000	0.0%
合計	18,370,000	100.0%	17,000,000	8.1%

※積立金、投資および出資金、貸付金、予備費



市民一人当たりの予算額

民生費	高齢者や障がい者の福祉、子育て支援、生活保護などに	104,096円
土木費	道路の整備、河川、公園および市営住宅の管理などに	48,590円
総務費	全般的な管理事務などに	42,306円
公債費	市債の返済に	35,101円
教育費	学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツの振興などに	35,922円
衛生費	病気予防や健康増進、火葬場斎場の運営、ごみ処理などに	23,403円
消防費	消防、救急活動、災害対策などに	16,958円
農林水産業費	農林業の振興、生産基盤の整備などに	13,638円
議会費	議会運営に	3,863円
商工費	商工業や観光の振興などに	2,891円
その他	予備費などに	1,297円
合計		328,065円



※予算額を平成25年3月1日現在の人口55,995人で割って算出

総務費 23億6,890万8千円 (4.3%増)

市の一般的な管理事務等の経費で、市税等の徴収や公有財産の維持管理、戸籍や住民基本台帳の管理、広報紙の発行、選挙、統計調査等に使われる費用です。

本庁舎の空調設備改修に係る経費、光熱水費、修繕料等の庁舎管理事業に1億1,399万6千円、平成27年度固定資産税評価替に向けた固定資産税課税台帳整備事業に5,540万5千円等を計上しました。

また、新たに、日常生活の交通手段に不便をきたしているかたに、新たな地域公共交通として導入するデマンド交通運行事業に1,979万2千円、参議院議員の平成25年7月28日任期満了に伴う参議院議員通常選挙費に2,412万8千円、茨城県知事の平成25年9月25日任期満了に伴う茨城県知事選挙費に2,228万7千円を計上しました。

民生費 58億2,887万9千円 (8.7%増)

市民に一定の水準の生活と安定した社会生活を保障するための経費で、高齢者や障がい者、乳幼児のための福祉や生活保護等に使われる費用です。

障がい者(児)が地域で生活できるようサービスの給付を行う障害福祉サービス給付事業に7億9,693万1千円、中学校修了前までの児童生徒を養育している保護者に対し児童手当を支給する児童手当支給事業に8億9,610万円、生活に現に困窮している人に対し、生活扶助費、医療扶助費および住宅扶助費等を支給する生活保護扶助費に4億6,425万6千円等を計上しました。

また、新たに、介護保険サービスの基盤整備を図るため、地域密着型サービス事業を提供する事業者へ設備整備に係る補助を行う介護基盤緊急整備等特別対策事業に6,000万円、老朽化の著しい芳野学童保育所を整備する芳野学童保育所整備事業に4,884万1千円を計上しました。

衛生費 13億1,047万3千円 (8.8%増)

市民が健康で衛生的な生活を送れるよう良好な環境を保持するための経費で、各種検診や予防接種、公害対策、ごみの収集処理等に使われる費用です。

子宮頸がん・ヒブ・小児肺炎球菌等の予防接種事業に1億8,261万5千円、一般家庭から排出されるごみの収集および運搬を行う家庭系可燃ごみ収集事業に9,732万6千円等を計上しました。

また、新たに、コミュニティセンター等の地域防災拠点施設に太陽光発電システムによる蓄電池や街路誘導灯を設置する再生可能エネルギー導入事業に8,116万7千円を計上しました。

(表5、図3参照)



農林水産業費 7億6,367万5千円 (17.6%増)

農業、林業および畜産業の振興対策、生産基盤の整備、農道の維持管理、地籍調査等に使われる費用です。

農業用施設の整備を行い、農業生産性の向上および農業構造の改善を図る土地改良基盤整備事業に5,841万9千円、戸多地区地籍調査事業に3,302万4千円、木崎地区地籍調査事業に3,005万6千円等を計上しました。

また、新たに、地域農業活性化に向けた具体的施策について調査研究を行う元気ナカむらづくり事業に657万2千円、地元産の農産物を使用した商品開発を行い、農産物の消費拡大を図る農産物産品化事業に655万7千円を計上しました。

商工費 1億6,188万3千円 (11.0%減)

商工業の振興やイベント等の観光事業等に使われる費用です。

なかひまわりフェスティバル事業に1,335万4千円等を計上しました。

また、新たに、商工業振興のための計画を策定する商工業振興計画策定事業に477万7千円を計上しました。

土木費 27億2,081万4千円 (19.0%増)

道路の新設改良や維持補修、河川、公園および市営住宅の維持管理、土地区画整理や市街地整備等、社会資本の整備に使われる費用です。

自動車、自転車および歩行者が安心して移動できる車道や歩道の整備を行う道路改良舗装事業に2億2,927万円、市街地の冠水被害等を防ぐために両宮排水路を改修する安心安全対策両宮排水路整備事業に3億8,512万円等を計上しました。

消防費 9億4,955万円 (0.2%減)

消防本部の職員人件費、消防本部庁舎の維持管理、消防団の活動、消防施設の整備および維持管理、防災対策等に使われる費用です。

消防団設置事業に3,439万3千円等を計上しました。

また、新たに、消防団車両を更新する消防団車両整備事業に2,362万円、消防本部庁舎等における老朽設備等を改修する消防本部庁舎改修事業に1,112万1千円、災害時に迅速な対応が図れるよう、災害対策本部における各班の行動マニュアルを作成する地域防災計画行動マニュアル作成事業に1,089万8千円を計上しました。

教育費 20億1,142万7千円 (11.2%増)

学校教育、社会教育等の教育関係の経費で、幼稚園や小中学校の教育振興、文化・スポーツの振興等に使われる費用です。

臨時調理員の賃金や燃料費、賄材料費、給食配送委託料等の給食センター運営事業に3億256万円、将来の統合等を見据え、芳野小学校校舎の教室数の拡充を行う芳野小学校校舎整備事業に1億2,315万6千円等を計上しました。

また、新たに、菅谷西小学校校舎耐震補強事業に1億3,759万8千円を計上しました。

公債費 19億6,548万2千円 (3.3%減)

過去に公共施設の建設事業を実施した際の財源等として借り入れた市債を返済するための費用です。

起債償還元金に16億8,576万3千円、起債償還利子に2億7,871万8千円等を計上しました。

平成25年第1回那珂市議会定例会 3月4日～19日の16日間の会期で開催

議会



市長提出議案は報告3件、条例の制定・一部改正13件、平成24年度補正予算11件、平成25年度予算9件、平成24年度決算の認定1件、その他7件、合わせて44件について審議され、全議案について原案のとおり可決されました。

行政概要報告

■那珂ふるさと大使について

1月17日に新たに那珂ふるさと大使1人を任命し、中央公民館において委嘱状交付式を行い、那珂市新年度賀詞交歓会で紹介しました。また、引き続き開催した情報交換会では、活動をとおして感じたことやPRの手法等について意見を交わしました。

■ふれあい座談会について

1月26日に「市長と話そうふれあい座談会」を開催し、地域の課題についての意見交換を行うとともに、施策の取り組みに関し質疑応答を行いました。

■広報活動について

平成24年茨城県広報コンクールにおいて、広報なか平成24年10月号が組み写真の部で準特選に入選しました。

■第1次那珂市総合計画後期基本計画の策定について

本年度をもって終了する前期基本計画の成果や課題を踏まえ、平成25年度から平成29年度までの5年間の新たなまちづくりの指針となる那珂市総合計画後期基本計画を策定しました。

■デマンド交通の愛称について

新しい交通システムである「デマンド交通」の実証運行を4月より開始するにあたり、市民の皆様に親しみをもって利用いただくため、愛称を公募した結果、150件の応募があり、「ひまわりタクシー」と決定しました。

■有害鳥獣捕獲について

県からの捕獲要請により鳥獣保護区において2月1日から3月15日まで捕獲を実施し、2月28日現在で25頭捕獲しました。

■総合老人保健センター「ひぬま荘」について

平成24年10月31日をもって解散した、水戸地方広域市町村圏事務組合歳入歳出の決算について、地方自治法施行令第5条第3項の規定に基づき、12月25日に監査委員の審査を行い、その意見をいただきました。

■カミスガプロジェクトについて

地域の賑わいと商店街の活性化を図るため、市と共催により「カミスガ☆カミスガ」等を開催しているカミスガプロジェクトが、「地域づくり総務大臣団体表彰」および「第3回地域再生大賞優秀賞」を受賞しました。

■道路維持管理について

道路における危険防止を図るとともに交通の安全を確保するために、交通安全施設設置工事を12月に、道路維持補修工事を1月にそれぞれ発注しました。

■上菅谷駅舎改修に伴うJRとの確認書の締結について

災害時等の駅舎利用についてJRと協議した結果、市民および鉄道利用者との一時避難場所として駅舎利用の協力が得られ、平成25年1月31日付で「地震等大規模災害に関する確認書」を締結しました。

■公共下水道事業について

下菅谷地区No.1マンホールポンプ設置工事および寄居地区No.1マンホールポンプ設置工事を1月に発注しました。

■農業集落排水事業について

鴻巣Ⅱ期地区管路施設幹線3号第8工区工事および鴻巣Ⅱ期地区マンホールポンプ設置第3工区工事を1月に発注しました。

■上水道事業について

門部地区配水管布設(第1工区)工事および下菅谷地区配水管移設(第3工区)工事を1月に発注しました。

■那珂市教育振興大会について

2月21日に総合センターらばーるにおいて、第9回那珂市教育振興大会を開催し、スポーツや文化等の分野で活躍されたかたがたの功績を讃えるところに、社会教育の分野で功績のあったかたへ感謝状が手渡されました。また、引き続き、本川達雄東京工業大学教授による記念講演が行われました。

■成人式について

1月12日に那珂総合公園アリーナにおいて成人式を開催しました。今年の該当者は566人で出席者は432人、出席率は76・3%でした。

■総合公園テニスコート改修について

総合公園テニスコートの全面改修工事が完了し、3月1日から利用を再開しました。

■消防業務について

12月1日から2月28日までの消防訓練指導につきましては、事業所や学校等を対象に17回行い、2763人が参加し、防火防災知識の習得と防火意識の向上を図りました。また、普通救命講習会を9回行い265人が修了し、応急手当の普及に努めました。

火災出場件数につきましては、建物が3件、その他が6件、合計9件、

救急出場件数につきましては、急病が391件、交通事故が77件、その他が148件、合計616件となっております。

また、消防意識の高揚と防災活動の自覚を図り、「安全で安心なまち」の実現を目指して、1月13日に那珂総合公園において消防関係者が一堂に会し消防出初式を開催しました。

■東日本大震災について

市民の放射線に対する不安を解消するため、公共施設等における空間放射線量および水道水の放射性物質濃度の測定を引き続き実施しております。簡易測定器により、保育所や学校の給食食材および市内で生産された農畜産物を独自に検査し、食における安全の確保と風評被害の防止に努めております。これらの測定結果につきましては、ホームページや広報紙等で公表しております。

災害対策の総合的かつ円滑な実施を図るため関係機関等と災害時応援協定を締結し、支援や協力体制の整備を引き続き進めております。12月27日に社会福祉法人ナザレ園、社会福祉法人新世会、社会福祉法人豊潤会、社会福祉法人青燈会、医療法人社団青燈会、社会福祉法人実誠会の6法人13施設と大規模な災害が発生した場合における災害時要援護者の避難保護について、「福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結しま

した。2月15日には森松工業株式会社と災害時における飲料水の安定確保のため、「応急給水活動における給水タンクの優先提供に関する協定」を締結しました。

災害時における生活用水を確保するため整備を進めておりました防災井戸2か所の設置が完了しました。

震災により被害を受けた消防施設の復旧状況につきましては、漏水した防火水槽2基（菅谷・鴻巣）の修理を行い、11月22日に工事が完了しました。

東日本大震災による住家の全壊・大規模半壊・半壊となったかたへの介護サービス利用時の自己負担額免除は、平成24年9月末までのサービス提供分で終了となりました。10月以降は、原子力災害による避難を目的に、那珂市へ転入したかたのみが利用する介護サービスの自己負担額が免除の対象となります。これに該当する対象者は2人で、減免額は10月から12月末現在で2万2221円でした。

農畜産物の損害賠償額につきましては、2月末までの申請状況は、JAひたちなか請求者数を含め累計で93件、請求額8329万円です。また、請求に伴う東京電力からの支払いにつきましては、2月28日現在で支払総額8262万円となっております。

被災されたかたを支援するため、

被災者生活再建支援制度による国の支援金および県・市の災害見舞金を支給しており、1月末日現在の支給状況は次のとおりです。国の支援金は、全壊が169件、大規模半壊が9件、合計178件で総額2億2075万円です。県の災害見舞金は、半壊179件で、537万円です。市の見舞金は、住家の全壊が46件、半壊が242件、非住家の半壊以上が、277件、合計565件で総額1947万円です。また災害援護資金の貸付は、9件で1680万円です。

義援金は国および県からの義援金と合わせて支給しており、2月末日現在の支給状況は、死亡4件、全壊45件、大規模半壊13件、半壊229件の合計291件で総額2億2225万5360円です。

平成25年3月4日

那珂市長 海野 徹

◎報告

専決処分について（平成24年度那珂市一般会計補正予算（第6号））／専決処分の報告について（損害賠償補償事故の賠償額の決定）／専決処分の報告について（損害賠償補償事故の賠償額の決定）

◎条例の制定・一部改正

那珂市名誉市民条例の一部を改正する条例／那珂市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例／那珂市障害程度区分認定審査会の委員の定数を定める条例の一部を改正する条例／那珂市介護保険条例の一部を改正する条例／那珂市総合保健福祉センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例／那珂市公共下水道事業受益者負担金に関する条例の一部を改正する条例／那珂市農業集落排水整備事業分担金に関する条例の一部を改正する条例／那珂市営テニスコートの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例／那珂市災害対策基金条例／那珂市指定地域密着型サービスの事業に関する基準を定める条例／那珂市指定地域密着型介護予防サービスの事業に関する基準を定める条例／那珂市新型インフルエンザ等対策本部条例／那珂市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例

◎平成24年度補正予算

平成24年度那珂市一般会計補正予算（第7号）／平成24年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）／平成24年度那珂市下水道事業特別会計補正予算（第2号）／平成24年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計補正予算（第3号）／平成24年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）／平成24年度那珂市上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）／平成24年度那珂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）／平成24年度那珂市水道事業会計補正予算（第2号）／平成24年度那珂市一般会計補正予算（第8号）／平成24年度那珂市下水道事業特別会計補正予算（第3号）／平成24年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計補正予算（第4号）

◎平成25年度予算

平成25年度那珂市一般会計予算／平成25年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）予算／平成25年度那珂市下水道事業特別会計予算／平成25年度那珂市公園墓地事業特別会計予算／平成25年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計予算／平成25年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算／平成25年度那珂市上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計予算／平成25年度那珂市後期高齢者医療特別会計予算／平成25年度那珂市水道事業会計予算

◎平成24年度決算の認定

平成24年度水戸地方広域市町村圏事務組合歳入歳出決算の認定について

◎その他（同意を含む）

公の施設の広域利用に関する協議について／市道路線の認定について／茨城消防救急無線・指令センター運営協議会の設置について／損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定について／那珂市教育委員会委員の任命について／那珂市固定資産評価審査委員会委員の選任について／那珂市政治倫理審査会委員の委嘱について

茨城県市長会自治功労者表彰式

茨城県市長会自治功労者表彰式が2月7日、茨城県市町村会館で行われ、那珂市から民間自治功労者として、吉原誠一さん（福田）と仲田義一さん（門部）の2人が表彰されました。

吉原さんは、平成10年に那珂町農業委員に就任以来、地域農業者の世話役やリーダーとして、農業委員活動に積極的に取り組むとともに、平成13年3月31日から平成16年3月31日まで那珂町農業委員会会長代理を、平成16年3月31日から現在に至るまで約9年にわたり那珂市農業委員会会長を務められ、那珂市の農業の振興・発展に尽力されています。

特に、耕作放棄地の発生防止・解消のため、農業生産法人などと連携した新たな取り組みを積極的に取り入れるなど、地域の実情に即した委員会活動に自ら先頭に立ち、地域農業の進展と農業者の地位向上に多大な貢献をされています。

仲田さんは、平成12年に那珂町文化財保護審議委員として就任以来、文化財の保護・普及活動に尽力されています。平成18年4月1日からは那珂市文化財保護審議会委員長として審議会をまとめるとともに後進の指導にあたり、現在も文化財保護の第一人者として精力的に活動を続け



◆知事、市長と記念撮影をする
吉原誠一さん（左から2人目）と、
仲田義一さん（左から3人目）

る姿は、他の委員の模範となっています。

また、平成13年から那珂（町）市史編さん委員会委員として就任以来、（町）市史編集事業の中心的な役割を担い、平成24年3月に発行した「那珂地域の社寺祠堂」の編集にも尽力され、現在もなお市の文化財行政の振興に多大な貢献をされています。

那珂市内観光地めぐり

那珂市観光協会では、市内観光地めぐりを2月27日に行いました。今回は主に神崎・額田地区の観光地を回るコースで実施され、あいにくの冷たい雨が降りしきる中、参加した25人のかたは、訪問先の説明や観光ボランティアガイドの説明に耳を傾け、あらためて郷土の歴史を振り返っていました。

上宮寺～三嶋神社～甚二郎稻荷～額田城跡 ～額田神社～毘盧遮那寺～常福寺～源太郎稻荷 郷土の歴史をめぐる



上宮寺（本米崎）



三嶋神社（本米崎）



額田神社（額田北郷）



常福寺（瓜連）

平成25年度那珂市まちづくり出前講座をご利用ください！

問い合わせ

市民協働課市民活動グループ

☎298-1111(内線263・265)

まちづくり出前講座とは、市役所の仕事を市民の皆様にご覧いただくために、ご希望のテーマについて市の職員を講師として派遣する制度です。市内に在住、在勤または在学する10人以上のグループでしたら、どなたでもご利用いただけますので、次の「まちづくり出前講座メニュー」をご参考の上、ふるってご利用ください。なお、利用方法等の詳細については、市民協働課までお問い合わせください。

【まちづくり出前講座メニュー】

分野	講座番号	講座名称 (テーマ)	説明内容 (概要)	担当	説明時間
① 市民との協働のまちづくり	1	協働のまちづくりの取り組みについて	市が進めている協働のまちづくりの基本的な方向性についての概要を説明します。	市民協働課 市民活動グループ	30分～ 60分
	2	男女共同参画について	那珂市男女共同参画プラン、啓発紙、パワーポイントなどを使って説明します。		50分
	3	身近な人権教育を考える	人権について考え、人権意識を高める学習を行います。	秘書広聴課市民相談室市民相談グループ、生涯学習課社会教育グループ	45分～ 60分
② 防災・防犯・交通安全	4	いざと言う時のために応急手当を覚えよう	身近なところで起こる、けが・病気に対する応急手当を習得します。	消防本部警防課 警防グループ	60分～ 90分
	5	とっさの時の応急手当(心肺蘇生法)を覚えよう	突然の心停止等に対する応急手当の習得およびAEDの使用方法を習得します。		3時間以上
	6	火災を防ぐ「あたりまえ」を地域に！	住宅用火災警報器・消火器等について説明します。	消防本部予防課 予防グループ	60分
	7	家庭・地域での防災力の向上	家庭でできる防災の心がけ、自主防災組織の設立や活動内容、防災に関する市の取り組みについて説明します。	防災課 防災グループ	30分
	8	家庭・地域での防犯力の向上	家庭でできる防犯の心がけ、自警団(防犯パトロール隊)の設立や活動内容、防犯に関する市の取り組みについて説明します。		30分
	9	交通安全対策の取り組みについて	交通事故の現状や市・那珂警察署・交通関係団体が行っている交通事故防止に向けた取り組みについて説明します。		30分
	10	悪質商法と対処法	悪質商法の内容とその対処について説明します。	環境課 消費生活センター	60分
③ 環境	11	ごみの分別・減量等について	ごみの分別・減量などについて説明します。	環境課 環境グループ	45分
	12	環境基本計画について	環境基本計画の概要について説明します。		45分
	13	地球温暖化防止について	地球温暖化防止計画の概要について説明します。		30分
④ 道路・建設	14	都市計画街路について	当市における都市計画街路の整備状況について説明します。	都市計画課 都市計画グループ	20分
	15	街づくりの進め方について	当市における街づくり事業の事例紹介について説明します。	都市計画課 都市整備グループ	30分
⑤ 上下水道	16	那珂市の公共下水道について	下水道のしくみ、宅地内の排水設備、受益者負担金、下水道使用料について、パンフレット等により説明します。	下水道課 工務・管理グループ、 業務グループ	45分
	17	那珂市の農業集落排水事業について	農業集落排水の汚水処理のしくみ、宅地内の排水設備、受益者負担金、農業集落排水使用料について説明します。		45分
⑥ 福祉・医療・健康・年金	18	生活習慣病予防講座	メタボリックシンドロームを中心に、生活習慣を改善する方法を学びましょう。	健康推進課 健康増進グループ	60分
	19	子どもの食事について	乳幼児期からの栄養について学びましょう。	健康推進課 母子保健グループ	60分
	20	子どもの健康づくりについて	子どもが健やかに育つよう、乳幼児期からの身体づくりについて学びましょう。		60分

分野	講座番号	講座名称 (テーマ)	説明内容 (概要)	担当	説明時間
⑥ 福祉・ 医療・ 健康・ 年金	21	子育て支援について	子育て支援事業の概要について説明します。	こども課 子育て支援グループ	40分
	22	幼児の発達と かかわり方について	乳幼児の食育・親子遊び等について 説明します。	こども課 保育所、子育て支援センター	40分
	23	高齢者の福祉サービス	介護保険以外の高齢者施策について 説明します。	介護長寿課 高齢者支援グループ	20分～ 30分
	24	障がい者のサービスについて	総合支援法によるサービスを含め、本市で 受けられるサービスについて説明します。	社会福祉課 障がい者支援グループ	60分
	25	介護保険制度	介護保険制度の概要について説明します。	介護長寿課 介護保険グループ	45分
	26	国民年金について	国民年金の概要について説明します。	保険課 保険・年金グループ	30分
	27	国民健康保険について	国民健康保険の概要について説明します。		45分
	28	後期高齢者医療制度について	後期高齢者医療制度の概要について 説明します。		30分
	29	地域包括支援センター	地域包括支援センターの業務内容について 説明します。	介護長寿課 高齢者支援グループ	40分～ 60分
⑦ 教育・ 生涯学習・ 生涯 スポーツ	30	那珂市の学校教育について	学校教育の基本方針について説明します。	学校教育課 指導室	30分
	31	特別支援教育体制について	特別支援に関する相談体制と就学相談に ついて説明します。	学校教育課 学務・施設グループ	30分
	32	教育支援センターに おける相談体制について	いじめ問題や不登校児童生徒への対応に ついて説明します。	学校教育課 指導室	30分
	33	いつでも、誰でも、 気軽に立ち寄れる図書館	市立図書館の概要について説明します。	生涯学習課 図書館管理グループ	30分
	34	那珂市のスポーツ振興	スポーツ振興計画と各種教室について 説明します。	生涯学習課 スポーツ推進室体育グループ	30分
⑧ 歴史・文化	35	那珂市の歴史と文化財	那珂市の古代からの歴史や、 市内の指定文化財、遺跡などを紹介します。	生涯学習課 歴史民俗資料館歴史民俗グループ	60分
⑨ 産業・ 観光	36	那珂市の観光	那珂市の観光地の見所や、 イベント等について紹介します。	商工観光課 商工観光グループ	30分
	37	那珂市の農業について	那珂市の農業振興や、 農業の現状について説明します。	農政課 農業振興グループ	30分
⑩ 行政改革・ 財政・ 税金	38	那珂市総合計画	第1次那珂市総合計画の概要について 説明します。	政策企画課 政策企画グループ	30分
	39	わが市の台所事情 (財政)	那珂市の財政状況について説明します。	財政課 財政グループ	60分
	40	市民税・固定資産税の しくみ	市税に関する税制度を、 資料を基にわかりやすく説明します。	税務課 市民税グループ、資産税グループ	60分
	41	那珂市の行政改革	那珂市の行政改革の取り組みを説明します。	行財政改革推進室 行革・監査グループ	60分
⑪ その他	42	陳情・請願の申請に ついて	陳情・請願の申請手続き方法について 説明します。	議会事務局 総務・議事グループ	10分
	43	選挙のしくみ	選挙についてやさしく説明します。	総務課 総務グループ	30分
	44	情報公開と個人情報保護	市の情報公開制度に基づく情報の開示と 個人情報の保護について解説します。		30分

住宅用火災警報器設置促進運動を実施

那珂市消防本部では、平成25年春季火災予防運動の期間にあわせ、3月1日～7日の間、那珂市女性消防部と共に那珂市内のスーパーおよび市立図書館で住宅用火災警報器の設置促進運動を実施しました。

住宅用火災警報器は、平成23年6月1日から設置が義務づけられています。が、まだ全てのご家庭で設置されておられません。

「いざという時にあなたの命を守ってくれる、住宅用火災警報器を設置しましょう」

今後も設置率100%を目指して、住宅用火災警報器の設置や維持管理の案内、設置率のアンケートを行い、必要性や重要性を再認識していただき、普及啓発を行っていきます。

◆住宅用火災警報器の種類

- 煙式（寝室、階段、台所など）
煙が火災警報器に入ると音や音声でお知らせします。
- 熱式（台所など火気を使う場合）
住宅用火災警報器周囲が一定の温度に達すると音や音声でお知らせします。
- 火災ガス漏れ複合型
住宅用火災警報器とガス漏れ警報器の機能を複合した警報器です。
- 補助警報装置
高齢者のかた、目や耳の不自由なかたには、音や光の出る補助警報装置の増設をおすすめします。



問い合わせ

消防本部

☎295・2111

歯の教室・第13回

日本歯科医師会
8020運動



小林デンタルクリニック
小林克男 先生

している「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足することができると言われていきます。そのため、「生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」との願いを込めてこの運動が始まりました。楽しく充実した食生活を送り続けるためには、妊産婦を含めて生まれてから亡くなるまでの全てのライフステージで健康な歯を保つことが大切です。ぜひ「8020」を目指してください。

◆参考

厚生省「成人歯科保健対策検討会中間報告」1989年（平成元年）

―抜粋―

「残存歯数が約20本あれば食品の咀嚼が容易であるとされており、例えば日本人の平均寿命である80歳で20本の歯を残すという、いわゆる8020運動を目標の1つとして設定するのが適切ではないかと考えられる。」



「8020（ハチマルニイマル）運動」とは？
いつまでもおいしいものを食べ続けるための元気な歯は、日々の手入れから。
日本歯科医師会では、高齢になっても豊かに楽しく過ごしていただくために、いつまでも自分の歯で、自分の口から食事をとることが最も大切なことであると考えて、診療所や地域におけるいろいろなお口の健康を保持・増進する活動によって8020運動を推進しています。
1989年（平成元年）より厚生省（当時）と日本歯科医師会が推進



4月にこども発達相談センター『すまいる』がオープンしました。このコーナーは、より多くの皆様に『すまいる』を知っていただき、そして気軽にご利用していただくため、「どんなところなのか?」、「どんな相談ができるのか?」、子育て中のお母さんの思いや、情報発信の場として連載していきます。

◆「すまいる」は子育てに関する悩みを一緒に考えるところです。どうぞ、気軽に「すまいる」にお電話ください。



◆相談時間：午前8時30分～午後5時

◆休館：土・日曜日、祝日、年末年始

『こども発達相談センターへのお願い』

～あるお母さんの思い～

かわいいわが子に障がいがあると医師から告げられたとき、子どもの将来を気にするあまり、どうにかしなければと思ひ悩み、ただひたすらに、またがむしゃらに子育てしている時期がありました。

この当時は、困っていることばかりが頭を占め、子どものできない面ばかり見るようになり『こうあらねばならぬ』的な対応になりがちで、子どもとの関係や家族との関係もぎくしゃくし、堅苦しいものになっている状況でした。子育てを放棄したくなり、『私の話を聞いてほしい』と思うことが度々ありました。

子どもの発達に不安を持つ親にとって、『いつでも』、『どんな些細なことでも』、疑問や心配なことができたときに、気軽に相談できる相手がいったり、場所があるということは何よりも心強いです。こども発達相談センターも、そのような場所であってほしいと望んでいます。



選挙いろいろ
Q & A

このコーナーでは、市民の皆さんが選挙について抱いている疑問や、知りたいことについてお答えしていきます。

Q 立候補は誰でもできるの??

A 選挙の種類によって立候補できる人は違います。詳しくは次の表のとおりです。

選挙名	立候補の資格
衆議院議員選挙	日本国民で満25歳以上の者
参議院議員選挙	日本国民で満30歳以上の者
茨城県知事選挙	日本国民で満30歳以上の者
茨城県議会議員選挙	日本国民で満25歳以上の者で、引き続き3か月以上茨城県内に住所を有する者
那珂市長選挙	日本国民で満25歳以上の者
那珂市議会議員選挙	日本国民で満25歳以上の者で、引き続き3か月以上那珂市内に住所を有する者

Q 本名以外で立候補できるの??

A 立候補の届出は、戸籍名でしなければなりません。ただし、通称がある場合で、通称認定の申請をして認められれば、戸籍上の本名に代えて通称（戸籍名以外の呼称で本名に代わるものとして広く通用しているもの）が使用できます。申請する際、その通称が戸籍名に代わるものとして広く通用しているものであることを説明し、かつ、そのことを証するに足る資料を提示しなければなりません。また、戸籍名を仮名書にする場合も通称認定申請が必要になります。

問い合わせ

那珂市選挙管理委員会

☎298・1111

(内線514・515)

那珂市内の放射線量の測定状況をお知らせします

市内の小中学校、幼稚園、都市公園、保育所（園）、体育施設などで放射線量を測定しています。また、市ホームページにも掲載しています。

○小中学校、幼稚園

担当課および測定場所	測定値	測定日
学校教育課	本米崎小学校	0.093 3月5日
	横堀小学校	0.088 3月5日
	額田小学校	0.066 3月4日
	菅谷小学校	0.100 3月4日
	菅谷東小学校	0.083 3月5日
	菅谷西小学校	0.104 3月5日
	五台小学校	0.086 3月5日
	戸多小学校	0.097 3月6日
	芳野小学校	0.103 3月4日
	木崎小学校	0.092 3月5日
	瓜連小学校	0.092 3月5日
	横堀幼稚園	0.080 3月5日
	額田幼稚園	0.082 3月5日
	菅谷幼稚園	0.076 3月5日
	菅谷西幼稚園	0.098 3月5日
	五台幼稚園	0.096 3月6日
	芳野幼稚園	0.074 3月5日
	那珂第一中学校	0.067 3月4日
	那珂第二中学校	0.088 3月5日
	那珂第三中学校	0.091 3月5日
	那珂第四中学校	0.063 3月7日
	瓜連中学校	0.089 3月4日
	茨城学園	0.084 3月5日
	ナザレ幼稚園	0.060 3月5日
	さいせい幼稚園	0.107 3月5日
	大成学園幼稚園	0.079 3月6日

○公共施設

担当課および測定場所	測定値	測定日
健康推進課	保健センター(ひだまり)	0.092 3月8日
生涯学習課	中央公民館	0.100 3月5日
	図書館	0.097 3月5日
	那珂総合公園	0.100 3月5日
	歴史民俗資料館	0.102 3月3日
	ふれあいの杜公園	0.110 3月5日
市民協働課	ふれあいセンターよこぼり	0.095 3月13日
	ふれあいセンターごだい	0.104 3月13日
	ふれあいセンターよしの	0.092 3月13日
	総合センターらぼーる	0.094 3月13日
那珂聖苑	那珂聖苑	0.110 3月14日
都市計画課	中谷原公園	0.118 3月12日
	宮の池公園	0.100 3月13日
商工観光課	一の関ため池親水公園	0.099 3月5日
	静峰ふるさと公園	0.113 3月5日

○保育所、保育園など

担当課および測定場所	測定値	測定日
こども課	菅谷保育所	0.080 3月14日
	額田保育所	0.076 3月11日
	ゆたか保育園	0.088 3月11日
	かしま台保育園	0.087 3月11日
	ごだい保育園	0.090 3月13日
	瓜連保育園	0.091 3月11日
	子育て支援センター	0.088 3月11日

- 測定値の単位は、すべて、マイクロシーベルト/時間です。
- 小中学校、幼稚園、保育所（園）は地表面から50cmの高さでの測定値で、公共施設は地表面から1mの高さでの測定値です。
- 測定結果は、すべて国の除染等の基準を下回っております。
- その他の高さの測定値はホームページをご覧ください。

●水道水の環境放射能水準調査結果

2月15日から3月14日までの期間、市内各浄水場（後台、木崎、瓜連）および芳野配水場の水道水の放射性物質（放射性ヨウ素および放射性セシウム）の測定結果は、いずれも不検出となっています。

各浄水場および芳野配水場の測定は週1回行っています。詳細は、市ホームページに掲載しています。

【日常生活で少しでも放射線を少なくできる方法】

- 校庭・園庭などの屋外での活動後には、手や顔を洗い、うがいをします。
- 土や砂を口に入れないように注意し、口に入った場合には、うがいをします。
- 登校・登園時、帰宅時に靴の泥をできるだけ落とす。
- 土ぼこりや砂ぼこりが多いときは、窓を閉める。

問 那珂市役所
学校教育課
こども課
健康推進課
生涯学習課
市民協働課
都市計画課
商工観光課
水道課
那珂聖苑

☎298-1111
内線8276
内線252
内線531
内線8282
内線263
内線355
内線245
内線8365
☎352-0073

市職員の人事異動

(課長級以上)

那珂市職員の人事異動(課長級以上)をお知らせします。

課長 富田慶治

【保健福祉部】

部長兼福祉事務所長 萩野谷康男

■社会福祉課 課長(那珂市社会福祉協議会派遣) 桐原浩彰/主任企画員兼課長補佐(総括) 篠原英二

■健康推進課 参事兼課長 内山克三/副参事兼課長補佐(総括) 菊池正明

【企画部】

部長 山田行雄 ■秘書広聴課 課長 石川透 ■政策企画課 主任企画員兼課長補佐(総括) 加藤裕一

【総務部】

部長 宮本俊美 ■総務課 次長兼課長 川崎薫/主任企画員兼課長補佐(総括) 高橋秀貴 ■財政課 課長 大部公男 ■税務課 課長 平野美良 ■収納課 課長 綿引智

【市民生活部】

部長 秋山悦男 ■市民協働課 次長兼課長 中山悦男/主任企画員兼課長補佐(総括) 山田甲一 ■環境課 課長兼消費生活センター所長 大沼善則 ■防災課 危機管理監兼

【建設部】

■土木課 次長兼課長 助川保彦/主任企画員兼課長補佐(総括) 小泉正之/副参事兼用地室長(兼土地開発公社事務局長) 畔野啓次 ■都市計画課 課長 引田克治 ■建築課 課長 石井亨

【上下水道部】

部長 岡崎隆 ■下水道課 次長兼

課長 榎村悦雄

■会計課 会計管理者兼課長 柏村泉

【議事事務局】

事務局長 城宝信保

【新規採用】

埜壮太/井上圭/三次紀之/水越梨紗/野原準子/海野裕美/三宅淳一

／新岡和/佐々木桂子/田口晴絵/稲葉智明/廣木智也/堀江輝/今泉真樹/小越正浩/片岡隆太郎/石井恭平/千葉郁/新江友和

【退職者】(3月31日付)

木村利文(企画部長) / 吉原正夫(総務部長) / 大森常市(市民生活部長) / 武田國嗣(上下水道部長) / 山崎文夫(議事事務局長) / 中井川和(教育委員会教育次長) / 鹿志村貢(会計管理者兼会計課長) / 佐藤隆一郎(上下水道部次長兼下水道課長) / 宮本一(農業委員会事務局) / 榎村孝之(総務部瓜連支所長) / 和地一行(教育委員会学校教育課副参事兼給食センター所長) / 稲田弘(教育委員会生涯学習課副参事兼図書館長) / 塩野美枝子(保健福祉部こども課額田保育所長) / 青山ちとせ(市民生活部市民課課長補佐) / 佐藤美江子(教育委員会学校給食センター調理員) / 加藤豊(消防本部参事兼東消防署長) / 飛田香(消防本部通信指令室長)

■農業委員会事務局 参事兼事務局長 車田豊/副参事兼事務局長補佐(総括) 青山泰士

【教育委員会】

教育部長 檜山英夫 ■学校教育課 次長兼課長 会沢直/主任企画員兼課長補佐(総括) 檜山寿夫/副参事兼学校給食センター所長兼瓜連学校給食センター所長 笹島邦義

■生涯学習課 課長 阿久津英樹/副参事兼課長補佐(総括) 成田節男

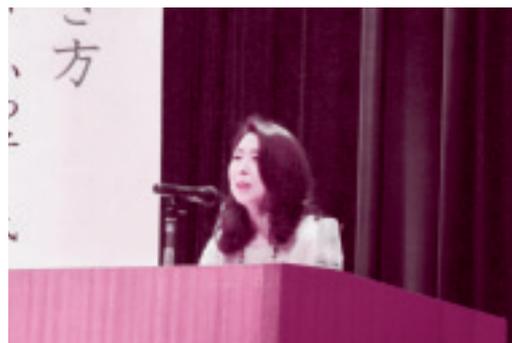
【消防本部】

■総務課 参事兼課長 豊島克美

■予防課 参事兼課長 海老澤幸男

■警防課 副参事兼課長補佐 野口英雄 ■通信指令室 室長 増子正行 ■東消防署 署長 寺門忠 ■西消防署 署長 笹島茂

夢や目標をあきらめない生き方



2月23日、総合センターらぼーるで、男女共同参画啓発事業「男と女輝いて生きる講演会」が開催されました。講師に辻井いつ子氏を迎え、「明るく、楽しく、そしてあきらめない生き方」をテーマにお話いただきました。参加した皆さんは、息子でありピアニストの伸行氏との二人三脚の日々や辻井さんのポジティブな生き方について熱心に耳を傾け、講演会は盛況のうちに終了しました。

那珂FC5年生が大舞台で躍動



1月27日から2月17日まで開催された第33回中村杯争奪少年サッカー大会で、那珂FCと那珂FCジュニオールの2チームがともに中央地区予選（1次・2次リーグ）を無敗で勝ち上がり県大会出場を果たしました。那珂FCは1次リーグで惜しくも敗れましたが、ジュニオールは決勝リーグに勝ち残り、県3位という見事な成績をおさめました。

善行青少年を表彰しました



3月9日、平成24年度那珂市「善行青少年健全育成のつどい」が総合センターらぼーるで開催され、善行のあった青少年を表彰しました。表彰者は次のとおり。（敬称略・学年は3月末現在）

【温かい思いやりのある行動】
 ○高野匠（菅谷小6年）、近澤香澄（菅谷東小6年）、笹嶋陸（五台小6年）、高安千穂（瓜連小5年）、鐵澤一（那珂一中3年）、今橋佳暲（那珂三中1年）、神長瑠華（同2年）、小山静輝（那珂四中3年）、鈴木佐知（同）、引田紗彩乃（同）、千葉麻帆（瓜連中1年）、高畑瑞希（同2年）、小林真穂（同3年）
 【地域社会をきれいにする行動】
 ○会沢幸希（木崎小6年）、大内菜摘（同）

高品質でおいしい米づくり



第56回茨城県稲作共進会において、和田勝一さん（瓜連）が最優秀賞を受賞しました。奥久慈うまい米生産協議会の生産部会副部長も務める和田さんは、地域オリジナル米「奥久慈の恵 うまかつべ」を生産し、食味値に応じた高付加価値販売を行い、地場産米の知名度向上に貢献しています。また、生育状況に合わせた管理を他の会員に呼びかけるなどの販売対策への取り組みも高く評価されました。

「カミスガ・プロジェクト」が受賞



2月9日、「カミスガ・プロジェクト」(代表菊池一俊さん)が地域づくり総務大臣表彰を受けました。
このプロジェクトは、JR水郡線の上菅谷駅周辺に「カミスガ」という新しい街を作ることを目的に立ち上げられました。現在までにイベントの開催や駅前ガーデンングの実施、短編映画の撮影などに取り組み、広域的な地域活性化につながっていることが評価されました。

中学生ディベート大会



2月7日、中央公民館で「第2回那珂市中学生ディベート大会」が行われました。市内中学校5校の代表生徒が、テーマ「店員のマニキュアル化したあいつはいいからいい」について、それぞれ肯定・否定側の立場に分かれ展開しました。白熱したことばのバトルは、観衆を圧倒するものでした。終了後は会場から大きな拍手が送られました。優勝は那珂二中、準優勝は那珂四中になりました。

魅力あるまちの実現を目指して



3月10日、総合センターらぼーるで協働のまちづくり推進フォーラムを開催しました。市民活動団体や自治組織の取り組みなどの事例発表が行われました。休憩を入れた後、常磐大学コミュニケーション部、興学部の井上繁教授を迎え、パネルディスカッションが行われました。松崎副市長および事例発表を行ったかたがパネリストになり、それぞれの経験を基に意見を発表しました。

静古徳古道沿い市有林の間伐



2月25日、平成21年以降いばらき森林クラブが進めてきたヒノキ林の間伐活動について、関係者に現地説明会兼中間報告会を実施しました。
また、この活動は平成23年度から同クラブ那珂支部が市民提案事業として実施している、静古徳古道沿い森林整備の一環として続けていきます。協定面積約2・5ヘクタールの20%を間伐した山林は、太陽の光を受け樹木の成育が促されます。

茨城県統計功労者表彰式で受賞



1月23日、茨城県統計功労者表彰式が開催され、統計調査にご尽力された、本島輝久さん（後台）、山崎昭行さん（横堀）、大森幸雄さん（杉）が、茨城県統計協会総裁表彰を受賞しました。

株式会社くすりのマルトより寄付



3月5日、株式会社くすりのマルト代表取締役安島力さんから300,000円が那珂市に寄付されました。

同社は、福祉・医療関係に役立ててほしいとして寄付をされました。

ひたちなか農業協同組合が交通安全帽子を寄贈



ご協力ありがとうございます 善意銀行へ

2月16日～3月15日（敬称略）

野木 利三郎	14,200円
叶野 功	2,054円
匿名	5,000円

※善意銀行の寄付は、那珂市社会福祉協議会でお受けしています
☎298-8881

那珂市農業委員会が受賞



2月8日、那珂市農業委員会（会長吉原誠一さん）が「地域の農地と担い手を守り活かす運動推進大会」で茨城県農業会議から表彰を受けました。

この表彰は、那珂市農業委員会の日頃の担い手対策の活動が評価されたものです。

3月21日、ひたちなか農業協同組合から交通安全帽子494個を寄贈いただきました。

通学する子どもたちの安全のために役立ててほしいとしていただいたこの帽子は、新入学児童全員に配布されました。

＊人の動き＊

那珂市の人口（3月1日現在）

※（ ）内は前月比

男	27,552人	（-26）
女	28,443人	（-4）
計	55,995人	（-30）
世帯数	21,445世帯	（+1）

○出生 13人（2月1日～28日）
○死亡 40人

＊今月の納税＊

○介護保険料（普通徴収） 1期

納期限：4月30日

■市税の納付は口座振替で

市税の納付には、便利で確実な口座振替制度がありますので、どうぞご利用ください。

詳細については、下記までお問い合わせください。

問い合わせ／収納課収納グループ
☎298-1111 内線174・175

＊国保ミニ情報＊

○那珂市国保の加入者数 15,765人
（平成25年2月末現在・

前月比67人減）

○那珂市国保が医療費の一部として支払った金額 3億48万円
（平成25年2月・

前月比1,689万円減）

※皆さんの日ごろの健康づくり、病気予防の心がけが医療費の増加、ひいては国保税の増額を抑えることにつながります。ご協力をお願いします

●市役所の電話番号
☎298-1111 (代表)

●ホームページ URL
http://www.city.naka.lg.jp

●メールアドレス
hisho-k@city.naka.lg.jp

●おしらせ版
市では、「広報なか」のほかに、「おしらせ版」(月2回)を発行しています。このコーナーではその一部を掲載していますが、「おしらせ版」も併せてご覧ください。



5月の休日当番医

- 3日 埴内科消化器科 (後台) ☎295-2110
4日 小野瀬医院 (後台) ☎295-2221
5日 ののがき脳神経外科クリニック (中台) ☎352-0555
6日 那珂クリニック (中台) ☎295-9800
12日 小宅内科医院 (菅谷) ☎298-0050
19日 なかむら内科・泌尿器科クリニック (飯田) ☎353-2310
26日 河野胃腸科外科 (竹ノ内) ☎295-5386

■診療時間/9:00~11:30
※受診の際、必ず当該医療機関へ電話で問い合わせください
※診療時間外は、「茨城県救急医療情報コントロールセンター」(☎241-4199)、または「那珂市消防本部」(☎295-2111)へお問い合わせください

那珂市民憲章

わたしたち那珂市民は、那珂・久慈の清らかな流れと豊かな緑に恵まれた郷土を愛し、市民としての誇りを持ち、明るく住みよいまちをめざします。

- 一 すこやかな心と体をつくりましょう
- 一 伝統を大切にし教養をふかめましょう
- 一 助け合い思いやる心をもちましょう
- 一 きまりを守り安全を心がけましょう
- 一 自然を愛し資源をいかしましょう

法律相談

日時/5月14日(火)13:00~17:00
場所/市役所(本庁)1階市民相談室
相談員/弁護士
申込方法/事前に次まで予約してください。

申し込み・問い合わせ/
秘書広聴課市民相談グループ
☎298-1111 内線117

心配ごと相談

日時/5月1日(水)、8日(水)、
15日(水)、22日(水)、
29日(水)
9:00~15:00
場所・問い合わせ/
那珂市社会福祉協議会(総合保健福祉センター「ひだまり」内)
☎298-8881



ごみの出し方について

家庭から出される燃えるごみは、美観・清潔の維持および迅速な収集を行うために、一度に出せるごみを少量に限らせていただいています。

ごみ排出量の目安/指定袋5個まで
ごみ排出時間/収集当日の朝8時まで
指定袋の出し方/
必ず氏名をフルネームで記入してください。

問い合わせ/
環境課環境グループ
☎298-1111 内線447~449

市総合開発審議会から 総合計画後期基本計画に対する答申



2月19日、那珂市総合開発審議会の福田会長、谷島副会長、浅川副会長から海野市長に、総合計画後期基本計画(案)に対する答申書が手渡されました。



◆テーマ本入れ替えのお知らせ

2013年のNHK大河ドラマ「八重の桜」は、福島県会津出身で、同志社英学校(後の同志社大学)を創設した新島襄の妻となった八重の生涯を描いた作品です。これに関する資料を1番書架に取り揃えています。

◆新刊本紹介(一般書)

慟哭の家	江上剛 著
九死一生	小手鞠るい 著
晩夏	今野敏 著
破邪の剣〈用心棒血戦記〉	鳥羽亮 著
蜂蜜秘密	小路幸也 著

話題の本

『拉致と決断』 蓮池 薫 著／新潮社刊
「北朝鮮」での24年間を初めて綴った迫真の手記!監視下の生活、洗脳教育の真相など、感涙のドキュメント。人生・人権・家族との絆まで脅かす「拉致問題」、あなたはどうかとらえますか…?



おすすめ本

『なめこ文学全集なめこでわかる名作文学 第1巻』
小嶋まり 著／幻冬舎コミックス刊
スマートフォンアプリで大人気の「なめこ」が、文学の世界で大活躍!なめこたちが登場人物になりかわって、名作文学を再現します。

◆イベントのおしらせ

こども図書館まつり
期日：4月29日(月)
内容：おはなし会(幼児向け)
読み聞かせ(小学校低学年向け)
映画会(幼児向け)
わくわく理科教室

図書館カレンダー

5月

May

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

休館日



ヘルスメイトさんが作る健康料理⑩
三種の野菜蒸しケーキ

Cook

■作り方

- ①かぼちゃ、にんじん、ほうれん草は、適当な大きさに切り、固めにゆでる。それぞれの材料のトッピング用を6個分用意する。(かぼちゃ・にんじんは型抜き、ほうれん草は細かく切る)
- ②りんごは皮をむき、細かく角切りにして砂糖を適宜まぶし、電子レンジで2分加熱する。
- ③①の材料をそれぞれ牛乳と一緒にミキサーにかけ、三種類の生地を作る。
- ④ホットケーキミックス、溶かしバター、③の各材料をそれぞれさっくり混ぜ合わせ、②のりんごを加えて型に流し、蒸し器で18分~20分蒸す。
- ⑤竹串をさして生地がついてこなければ完成です。型から出して6つに切り分ける。
- ⑥器に盛り付け、型抜きしたそれぞれの材料をトッピングする。

■材料(6人分)

かぼちゃ	25g	牛乳	270cc
にんじん	25g		(各90cc)
ほうれん草	20g	バター	54g
りんご(中玉)	3/4個		(各18g)
	(各1/4個)	ホットケーキミックス	225g
砂糖	適宜		(各75g)

■1人分261kcal/塩分0.8g

今月のヘルスメイトさん



那珂市食生活改善推進員
連絡協議会

北野 曜子さん
菅谷(高齢食部会)

■コメント

それぞれの野菜の彩りがきれいで、美味しく上に仕上がります。簡単に出来て、やさしい口当たりは、お年寄りにもおすすめです。



【川柳】 第8回那珂市文化祭川柳コーナー
訪問者の投句優秀作品 那珂川柳会選

課題 「写真五七五」

たい焼きの元祖ほんとにここのか 松浦 淳
 熱々とほおばる孫の笑顔あり 海老澤 和子
 たい焼きで冷たい両手温める 新田 真衣
 つり銭が無くてたい焼き五つ買い 筒井 かよ子
 特大と言われてたい焼き一個買う 飯島 京子
 泳がせてみようかとひとつ買ってみる 須藤 由紀
 寒い夜家族の笑顔目に浮かぶ 金子 涼子
 ひとり居は元祖たい焼き一尾買う 大曾根 州子
 寒い夜小窓のあかり暖かい 久保田 悦子
 たい焼きを買おうとしても金がない 佐藤 文緒

【短歌】 白鳥短歌会

春場所をテレビに見つつ本を読む軍配反るまでの時の間 草野 豊
 夕暮の五時を知らせる「七つの子」スキップ踏んで幼子帰る 赤塚 満夫
 枯れ芝の間に緑の草芽えて春の光のいよよ眩しき 渡辺 知英子
 庭石のもとに咲きたる寒あやめ・梅・水仙と華を競いあう 海野 宏幸
 草さえも動かぬ久慈の川端に斜光浴びつつ水音をきく 大森 満
 枝の穂の桜つぼみのくれなゐをひがな一日風いたぶれり 夷針 利理子
 枯れ草に見えし畑草芽の伸びて緑色増す一雨ごとに 大森 勝代
 名も持たぬ草はなけれど古寺の名もなき人の塚に草なし 仲沢 照美
 ぬるめの湯が好きだった父ゆったりとゆず湯に浸る今日は父の忌 池田 美代子
 枯れ草のなかより放置自転車か夕日を返し所在示せり 加藤 要

戸籍のまど

2月15日～3月14日届出

(敬称略)

おめでた

住所	出生児氏名	届出人
菅谷	寺川	陽葵 明德
竹ノ内	矢橋	莉垂蘭 雄介
菅谷	山下	凜 貴久
飯田	野上	さくら 一浩
菅谷	鯉淵	帆乃香 恵介
戸崎	和田	琴羽 真幸
菅谷	上村	春佳 祐樹
杉	永山	瑛大 絃平
菅谷	奈良	優花 正寛

おくやみ

住所	氏名	年齢
菅谷	小野瀬 桜雅	純一
菅谷	吉川 焯真	圭
菅谷	篠原 僚佑	健二郎
菅谷	高橋 蒼真	真也
菅谷	佐藤 うらら	道雄
中台	石川 愛佳	尚史
静	小沼 はつひ	92歳
横堀	山崎 みよ	82歳
福田	中根 茂	79歳
南酒出	片岡 つる	78歳
戸	檜山 砂子	78歳
門部	庄司 洋子	62歳
南酒出	根本 ふみ	90歳

瓜連	和田 唯夫	84歳
後台	吉原 厚	75歳
額田南郷	小林 亘郎	86歳
菅谷	森木 尚史	77歳
後台	廣瀬 克子	68歳
中台	後藤 正一	89歳
下大賀	小林 一男	78歳
福田	吉原 正勝	63歳
福田	飯塚 冬信	57歳
飯田	滑川 いの	86歳
菅谷	桑澤 伊那雄	74歳
飯田	田川 富一	90歳
静	柏 富夫	70歳
横堀	山崎 みよ	90歳
後台	塩野 きく江	91歳
後台	關 忠雄	86歳
後台	島田 元勝	84歳

※このコーナーは、市民の皆様から届出があったもののうち、掲載を希望されたかたのみ掲載しています





辻村 美穂さん(22歳) 菅谷

さわやかさん 97

私が保育士になりたいと思ったのは、母が保育士をしていて、その姿を見て育つことがきっかけです。保育園の卒園アルバムには、「大きくなったら保育士になりたい」と書いたことを覚えています。

こどもの可愛さを知るとともに、保育士の仕事の大変さも知りました。また、小学生からバスケットボールを続けています。中学、高校ではキャプテンを任せられました。チームスポーツのキャプテンを経験できたことは、自分を成長させてくれました。

4月からは、ひたちなか市の保育園で保育士になりました。保育士として常にこどもの気持ちに寄り添い、成長を見守っていききたいです。

こどもの気持ちに寄り添える保育士に

もりもりいっぱい食べてね



藤咲ももちゃん 2/20 生まれ 父・智紀さん 母・智子さん(菅谷)

いっぱい遊ぼうね



ひなこ 石崎日向子ちゃん 2/13 生まれ 父・亨さん 母・奈保子さん(瓜連)

健康でのびやかに大きくなってね



みこと 中澤実琴ちゃん 2/4 生まれ 父・健一さん 母・亜希さん(戸)

HAPPY BIRTHDAY!!



はじめてのたんじょうび

ーご家族からのメッセージー



[12か月健診時に掲載希望者による抽選を行っています。]